

要約

水稻品種「青天の霹靂」の追肥時期に吸収されるよう設計した全量基肥型肥料を開発しました。

研究成果の概要

1 背景・目的

「青天の霹靂」は、出荷基準に玄米タンパク質含有率（6%以下）が設定されており、従来品種以上に肥培管理が重要となります。そのため、生産現場からは、玄米タンパク質含有率が高まりにくく、かつ、追肥作業が不要な肥料が望まれていました。

そこで、「青天の霹靂」の生育に合わせた全量基肥型肥料（追肥時期に効く緩効性肥料を含む肥料）の開発に取り組みました。

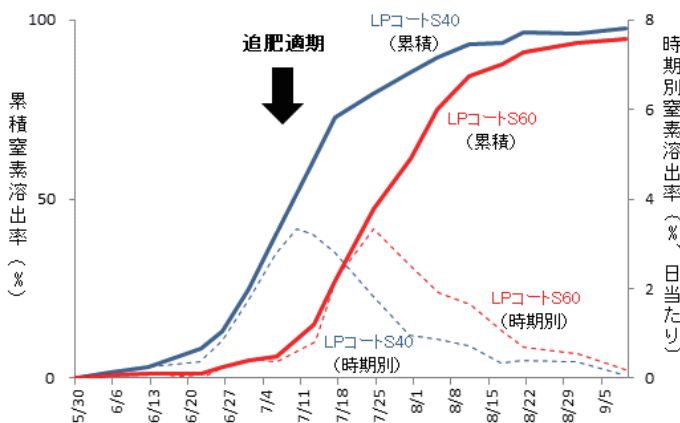


図1 緩効性窒素肥料の溶出

2 内容

- 緩効性窒素肥料「LPコートS40」は、肥効のピークが、「青天の霹靂」の追肥適期である幼穂形成期と合致することを明らかにしました(図1)。
- 「LPコートS40」を配合した肥料による全量基肥栽培は、収量、玄米タンパク質含有率とも追肥体系と同等であることを明らかにしました(図2)。

3 活用等

本成果は、農林総合研究所成果発表会で紹介するとともに、「指導参考資料」として産地で活用されています。

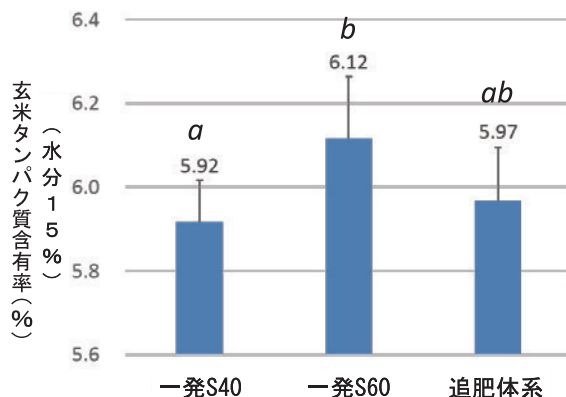


図2 肥料別玄米タンパク質含有率

注1) 図中の「一発S40」は「LPコートS40配合全量基肥型肥料」、「一発S60」は「LPコートS60配合全量基肥型肥料」。
注2) 図中の異英字間に5%水準で有意差あり。

関連情報

- 成果の詳細は、「『青天の霹靂』栽培マニュアル」に記載しています。
- 「LPコートS40」配合の全量基肥型肥料は、平成29年から販売されています。